

# ソフトウェアテストの次の10年

---



JaSST'12 東京 クロージングパネル ポジショントーク

2012/1/26(木)

電気通信大学 / ASTER(ソフトウェアテスト技術振興協会)

にし やすはる

# ソフトウェア開発の次の10年の進化のポイント

---

- ちゃんとつくる
  - 多品種化、大規模化、複雑化、高安全化、アカウントビリティ化、
- はやくつくる
  - スピード化、少数精鋭化
- 走りながらつくる
  - イタラティブ化、アジャイル化、クラウド化
- 人生をつくる
  - SNS、スマートフォン、Wii Fit/Kinnect、癒やし系介護ロボット



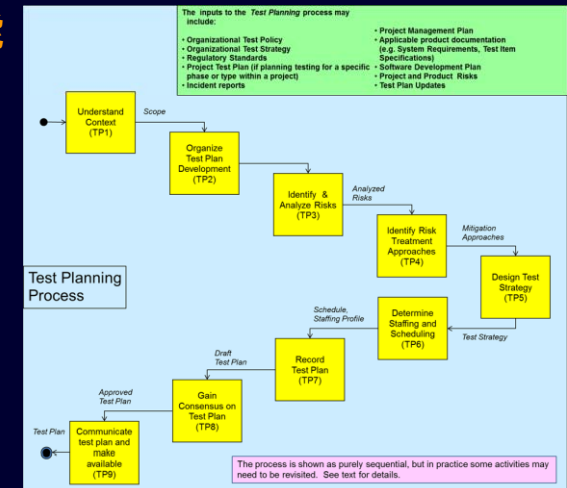
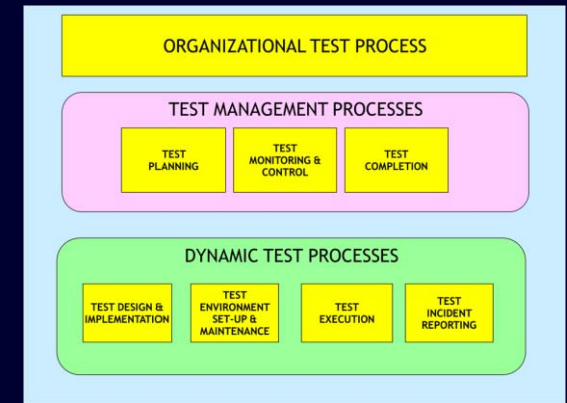
# ISO/IEC CD 29119 ( / WD 33063)

## • ISO/IEC JTC1 SC7で審議中の テストプロセスの国際規格

- 29119: テストプロセスの規格
  - » Part 1: コンセプト / P2: プロセス / P3: 文書 / P4: 技法
  - » 現在DIS段階として投票中
- 33063: テストプロセス改善の規格
  - » 29119+ $\alpha$ と15504/33Kシリーズがベース
  - » 現在CD投票に向けて草案策定中

### - 特徴

- » ドメインフリー: あらゆる規模・分野・パラダイムに適用可能
- » ジェネリック: テストレベルやテストタイプを抽象化したプロセスモデル
- » リスクベースド: リスクベースドテストアプローチを採用
- » 組織的: 組織内で合意されたテストポリシーやテスト戦略が必要
- » ヘビーウェイト: かなりのトレーサビリティ作業が必要かも



# ソフトウェアテストの次の10年の進化

---

- **ちゃんとつくる: テストそのものが「ものづくり」になる**
  - ソフトウェアテスト・エンジニアリング
    - » テスト開発方法論: テスト要求分析&テストアーキテクチャ設計の確立
    - » テストのプロダクトライン(プロダクトラインのテストではない)
    - » テストプロセス・テストプロセス改善
    - » テストにおけるDSL(ドメイン特化言語)
- **はやくつくる: 間違えないようにつくる**
  - バグパターンベースドテスト設計 / 認知科学との融合(開発者の間違いやすさ)
  - テストと開発の融合(Wモデル)
- **走りながらつくる: テストを完全に自動化して人間の知恵を加える**
  - 探索型でスマートなモデルベースドテスト
- **人生をつくる: 人間の感覚や感情、価値観を品質として取り扱う**
  - インタラクティブ・マルチメディア・ソーシャル・コンテンツの品質評価

*未来を予測する最善の方法は、それを発明することだ*  
*The best way to predict the future is to invent it*

---



電気通信大学 / ASTER  
にし やすはる